

2008年度
大阪大学 言語社会学会・言語文化学会 合同研究発表会
(大阪大学言語文化学会第34回大会)
2008年10月30日(木)

会場: 大阪大学 豊中キャンパス 言語文化研究科(言語文化専攻)棟 〒560-0043 豊中市待兼山町1-8
連絡先: 大阪大学言語文化学会事務局(大学院言語文化研究科棟3F助教室・三宅) tel: 06-6850-5957 e-mail: genbunjl@lang.osaka-u.ac.jp

2階 大会議室			
14:40-14:50	開会の辞 言語文化学会会長(言語文化研究科長) 金崎春幸		
1階 大会議室	2階 大会議室	3階 講義室	
15:00-15:30	司会 貴志雅之(言語文化研究科 言語社会専攻) 『アンナとシャム王』『王様と私』『アンナと王様』における近代化と女性化、人種・ジェンダーの統合 発表者 松本 ユキ(言文D1)	司会 義永美央子(留学生センター) FLASHを利用したマルチメディア教材製作の実践報告 ー日本語単語ゲーム教材を例にー 発表者 丁紀祥(テイ・キ・ショウ)(言社M2)	司会 大森文子(言語文化研究科 言語文化専攻) 日本語引用テキスト再考 ー2つの間接引用テキストー 発表者 上田 恭寿(2007年言語文化研究科博士後期課程修了)
15:30-16:00	司会 深澤一幸(言語文化研究科 言語文化専攻) 『アルヨことば』の発展と特徴、及び中国語訳に対する考察 発表者 リュウ ロ(言文D1)	司会 義永美央子(留学生センター) 多言語・多文化共生社会における言語内翻訳の有用性と処理方略 発表者 山本 一晴(言社M2)	司会 畑田美緒(世界言語研究センター) 堀田善衛が辿ったフォスターの『インドへの道』 発表者 アヌシュリー(言社D2)
16:00-16:10	休憩		
16:10-16:40	司会 春木仁孝(言語文化研究科 言語文化専攻) 逆接続助詞「ノニ」、「クセニ」に関する一考察 ー「ニ」から分析する可能性をさぐるー 発表者 王 天保(言文D2)	司会 多賀健太郎(言語文化研究科 言語文化専攻) 「東京モスク」と「大日本回教協会」 発表者 依岡 宏子(言文D1)	司会 中村未樹(言語文化研究科 言語社会専攻) ヘミングウェイ文学における暴力とライティング ー「ホーム・ライク」な場所をめぐる議論を中心にー 発表者 久保 公人(言社D3)
16:40-17:10	司会 春木仁孝(言語文化研究科 言語文化専攻) 日本語と韓国語の複合動詞の対照研究 ー「交換」、「修正」を表す複合動詞の意味と統語構造を中心にー 発表者 全 敏杞(言文D2)	司会 青野繁治(言語文化研究科 言語社会専攻) 雑誌『民俗台湾』における台湾知識人の「共栄圏文化」 発表者 張 修慎(2002年言語文化研究科博士後期課程修了、台湾静宜大学日本語学科)	司会 中村未樹(言語文化研究科 言語社会専攻) 都市の「細部」へ ーVladimir Nabokovの“A Guide to Berlin”ー 発表者 後藤 篤(言社M1)
17:10-17:40	司会 春木仁孝(言語文化研究科 言語文化専攻) 中国語の語気助詞“呢(NE)”の概念化 発表者 周 艶紅(言文D3)	司会 青野繁治(言語文化研究科 言語社会専攻) 「鳳子」から見る沈從文の世界観について 発表者 滝本 理博(言社M1)	
2階 大会議室			
17:40-17:50	閉会の辞 言語社会学会会長(言語文化研究科言語社会専攻長) 三原健一		
18:00-20:00	懇親会 会場: レストラン 宙(そら) (豊中キャンパス 言語文化研究科棟西隣) 会費: 教員・修了生 3,000円 学生 1,000円		